

情報・プラットフォーム



▼
特集1

ものメッセ KOCHI 2022 の出展者募集
第11回高知県ものづくり総合技術展

▼
特集2

高知県デジタル化促進モデル企業の取り組み紹介

- 補助事業のご案内 1
- 高知県デジタル化促進モデル企業の取り組み紹介 .. 2~6
- 羽ばたく!高知のものづくり 7
- 高知県よろず支援拠点通信 8
- 高知県工業技術センターだより 9
- オーテピア高知図書館のデータベースサービス .. 10
- INFORMATION 11
- お〜い!会員さん 12

第11回 高知県ものづくり総合技術展

HI 2022

出展者募集

として開催します！ 県外への販路拡大、人材確保に向けた企業PRにぜひご出展ください

ものづくり総合技術展のここが強み！

高知県内唯一！
地域最大級の
ものづくり展示商談会

県内外から
多くの方が来場！

技術の外商取引拡大
商談会を同時開催

県内学生も
多数来場！

第10回ものづくり総合技術展開催実績

●リアル展示会 令和3年11月11日(木)～13日(土)開催

出展者数	114事業者
来場者数	25,000人
学生来場者数	2,393人
参加県外企業数	123社
商談件数	572件



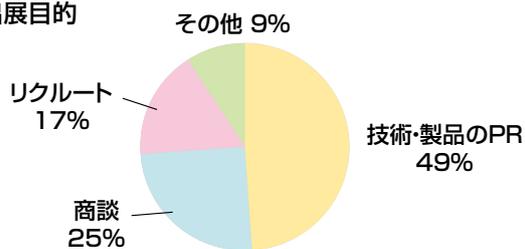
●オンラインものづくり総合技術展

令和3年8月12日(木)～令和4年3月31日(木)

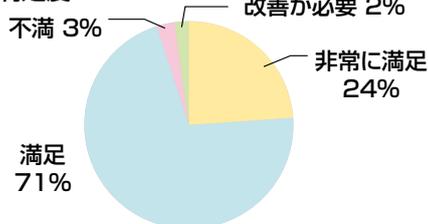
ウェブアクセス数 19,721件 令和3年4月1日～令和4年3月31日

出展者の声

●出展目的



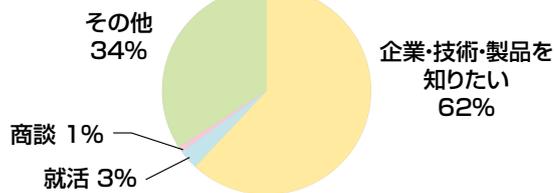
●出展者満足度



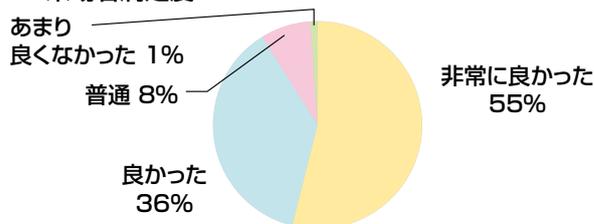
- 製品を直接見てもらったことで、来場者の生の反応を見ることができ、製品の課題にも気づくことができました。
- 県外企業を呼んでくれたことで商談の機会が増えました。

来場者の声

●来場目的



●来場者満足度



- 県内企業の製品や取り組みがよく分かりました。来年も楽しみにしています。
- 就職するにあたって多くの企業を見ることができ、県内で働くことにより関心が深まりました。
- 県内の産業について、子どもと共に学ぶことができました。

☆出展についての詳細は(<https://kochi-monodukuri.online/>)
または右記QRコードからご確認ください。



ものメッセKOCHI

今年度は、デモンストレーションコーナーを設置し、「高知のものづくり」をより体感いただける展示会

開催概要

名称/ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展
主催/高知県・公益財団法人 高知県産業振興センター
募集出展者数/110事業者程度
開催場所/高知ぢばさんセンター
〒781-5101 高知県高知市布師田3992-2

開催日時

リアル展示会/
令和4年**11月10日**（**木**）、
11日（**金**）、**12日**（**土**）
午前10時～午後4時

オンライン展示会/
令和4年**9月1日**（**木**）
公開予定～
令和5年**3月31日**（**金**）

ものづくり総合技術展とは

本県の「ものづくりの地産地消」と「地産外商」の促進を目的に、高知県内で「ものづくり」に携わる事業者の皆様へ、優れた技術・製品の紹介や、商談を行う場を提供しています。今年度もリアルとオンラインのハイブリット型で開催します。

商談サポートも充実!

出展される事業者の皆様が招待したい県外企業を事前に確認したうえで、県外企業の来場に係る交通費の一部を負担し招待するほか、当日の商談スケジュールまで調整を行います。県外への販路拡大にぜひご活用ください!

人材確保にも効果的!

県内各学校にリアル展示会への参加を呼びかけており、毎年多数の学生が来場しています。出展事業者の皆様には、将来の県内就職先としてのPRの場としても展示会をご活用いただいております。就職のきっかけが、ものづくり総合技術展での展示を見て、という出展事業者の方の声もいただいております。

オンライン展示会で全国に情報発信!

リアル展示会に出展される事業者の皆様や出展製品を紹介するWEBサイトを作成し、情報発信を行います。開催期間中は、出展の様子を撮影しWEBサイト内にて公開予定です。

今年はずっと、高知の「ものづくり」を体感!

会場内に大型の展示コーナーを設置します!

リアル展示会場中央に、来場者の方々が、動きや音、大きさなどを体感できる機械、その他の製品等を一堂に集めたデモンストレーションコーナーを新たに設置します。

来場者の方々が高知の「ものづくり」を一層体験できる展示商談会の開催を目指します。

起震車体験、防災認定製品展示コーナー

リアル展示会の屋外コーナーに、起震車体験コーナーを設置し、南海トラフ地震を体験することができます。また起震車周辺には、会場出展とリンクさせた高知県が認定する防災製品の展示コーナーを設置予定。地震体験から、高知県が誇る防災製品・技術への認知拡大に取り組んでいきます。

【高知県ものづくり総合技術展に関するお問い合わせ】

公益財団法人高知県産業振興センター 地産地消・外商推進部 事業戦略・地産地消課
☎ TEL:088-845-6600

補助事業のご案内

	設備投資を応援	省エネ設備への投資を応援	デジタル化を応援
補助金名	高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金	高知県原油高騰緊急対策設備投資事業費補助金	高知県デジタル化計画実行支援事業費補助金
補助対象者	<p>新型コロナウイルス感染拡大や原油価格・物価高騰等の影響を受けた県内中小企業者等及び中堅企業（個人事業主含む）で以下のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響によって売上高が10%以上又は付加価値額が15%以上減少 （令和2年4月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月とコロナ以前の同3か月を比較） ○原油価格・物価高騰等の影響によって売上高が5%以上又は付加価値額が7.5%以上減少 （令和4年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月と原油高騰等以前の同3か月を比較） 	<p>原油価格・物価高騰等の影響により経済的な影響※を受けた製造業を営む県内中小企業者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原油価格・物価高騰等の影響によって売上高が5%以上又は付加価値額が7.5%以上減少 （令和4年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月と原油高騰等以前の同3か月を比較） 	<p>当センター支援による「デジタル化計画書」を策定した県内中小企業者等</p>
要件	<p>再構築枠</p> <p>下の(1)～(3)のうち2つ以上に加えて「新事業の売上高5%以上」など、複数の要件を満たすこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 新製品の開発・新サービスの提供 新市場への進出 製品、サービスの製造方法または提供方法の変更 <p>一般枠</p> <p>上の要件(1)～(3)のいずれかを満たすこと</p>	<p>下の2つの要件を満たすこと</p> <p>(1) 省エネ要件</p> <p>補助事業実施前後における機械装置等のエネルギー使用量を10%以上削減できる計画を策定すること ※現在使用している機械装置等と本事業で導入を検討している機械装置等の比較を行った上で計画を策定すること</p> <p>(2) 生産性向上要件</p> <p>補助事業終了後3年までの間に付加価値額が年率平均3%以上増加する計画を策定すること</p>	<p>当センター支援による「デジタル化計画書」を策定すること</p>
補助対象経費	<p>新たな取り組みに必要となる設備投資費とそれに伴う関連経費</p> <p>〔土地の購入費、既存設備の撤去費用等、一部対象外経費あり〕</p>	<p>生産工程において使用する機械装置等</p> <p>〔補助事業に必要な配管・配電等の工事費、設置搬入費を含む〕</p>	<p>機械装置・システム構築費 クラウドサービス利用料 専門家経費</p> <p>〔人件費、旅費、印刷製本費、通信運搬費、会議費、その他諸経費は〕対象外</p>
補助金額	<p>再構築枠</p> <p>従業員数50人以下：100～2,000万円 従業員数51人以上：100～3,000万円</p> <p>一般枠 50～1,500万円</p>	50～750万円	15～150万円
補助率	<p>再構築枠</p> <p>中小企業者等：2/3以内 中堅企業者等：1/2以内</p> <p>一般枠 1/2以内</p>	1/2以内	1/2以内
公募締切	令和4年7月29日(金) 17:00必着	令和4年8月5日(金) 17:00必着	令和4年10月31日(月) 17:00必着
お問い合わせ	公益財団法人高知県産業振興センター 新事業チャレンジ支援事業事務局 TEL:088-845-6620 Email:challenge@joho-kochi.or.jp	公益財団法人高知県産業振興センター 省エネ等設備投資支援事務局 TEL:088-846-7087 Email:sho-ene@joho-kochi.or.jp	公益財団法人高知県産業振興センター デジタル化推進部 デジタル化推進課 TEL:088-845-6600 Email:digital@joho-kochi.or.jp
詳細はこちら	<p>https://joho-kochi.or.jp/new_challenge/index.php</p> 	<p>https://joho-kochi.or.jp/sho-ene/</p> 	<p>https://joho-kochi.or.jp/digital/hojokin.php</p> 

高知県デジタル化促進モデル企業の取り組み紹介

県の中小企業等のデジタル化支援の取り組み

県では、「第4期高知県産業振興計画」の重点ポイントとして、「経済成長の原動力となるデジタル化・グリーン化・グローバル化など産学官民連携によるイノベーションの創出」を掲げ、全庁をあげてデジタル化の取り組みを推進しています。

県全体でデジタル化を推進していくには、県内の中小企業等のデジタル化は非常に重要な課題となっています。このため、県では、産業振興センターや商工会連合会の支援機関に専門家を配置し、デジタル化に関する相談対応やデジタル化の伴走支援などを実施しているところです。

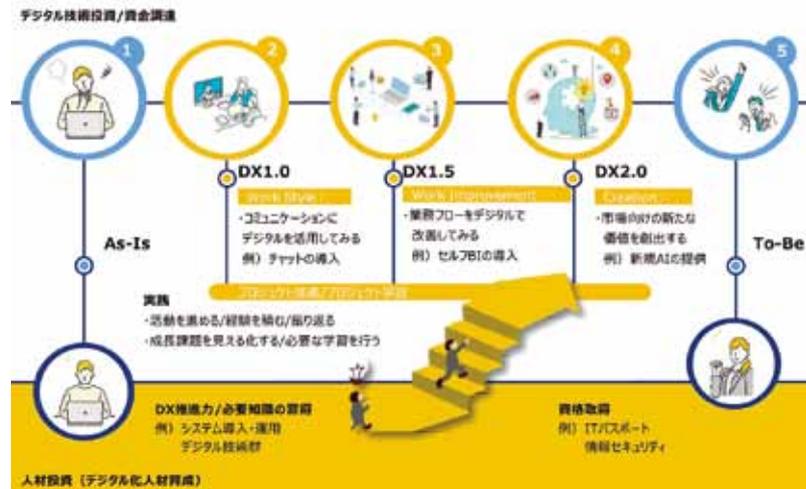
また、県内企業のデジタル人材の育成・確保のため、「高知デジタルカレッジ」や副業・兼業IT人材と県内企業とのマッチングなどにも取り組んでいます。

モデル事業の概要

これらに加え、県内企業がデジタル化に取り組むきっかけを生み出すため、令和2年12月から令和4年3月にかけて「中小企業デジタル化促進モデル事業」を実施しました。

この事業は、デジタル化に取り組む意欲のある中小企業5社に対して、「デジタル化計画」の策定・実行支援、社内の人材育成までを一貫して行い、その成果と過程を県内に広く普及することで県内企業のデジ

■高知県デジタル化促進モデルにおけるステージアップのイメージ



タル化の促進につなげることが狙いです。デジタル化は一朝一夕に実現されるものではなく、また一足飛びにも実現できません。ビジョンは大きく、一方でプロセスは堅実に進め、右図のようなステージアップを行います。

5社のモデル企業は、実際にこのようなプロセスを踏みながら、今もデジタル化に取り組んでいます。

～デジタル化相談窓口のご案内～

県内中小企業の方々のデジタル化に関する相談窓口を設けています。また、中小企業の「デジタル化計画」の策定・実行をサポートする伴走支援も行っています。

- 高知県産業振興センター「デジタル化相談窓口」
- TEL: 088-845-6600 ■ Mail: digital@joho-kochi.or.jp



～モデル事業のお問い合わせ～

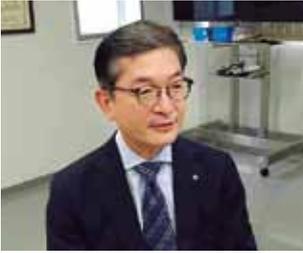
HPに令和3年度の事業成果を「DX推進ハンドブック」として公開しています。冊子の無料配布も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

- 高知県商工労働部産業デジタル化推進課
- TEL: 088-823-9751 ■ Mail: 152001@ken.pref.kochi.lg.jp



次ページからは、モデル企業の「株式会社垣内」と「新進建設株式会社」のインタビューを通じて、具体的にどのようなデジタル化を進めてきたのか、どのような成果につながったのかなどをご紹介します。ぜひ自社のデジタル化への取り組みの参考としてください。

～(株)垣内の取り組み紹介～



▲ 垣内大輔代表取締役社長

垣内 工場も増え、人員や生産量も拡大していくなかで、生産現場や管理業務にアナログ作業がかなり残っており、課題感を持っていました。3年前から国の中小機構(※1)や産総研(※2)、県の工業技術センターなどにも入ってもらい、デジタル化の勉強会を継続的に開催してきました。具体的な取り組みを開始しようとする良いタイミングでモデル事業のプロジェクトに参加することができました。

株式会社垣内のデジタル化プロジェクト全体を率いた垣内大輔代表取締役社長、各プロジェクトを担当した製造部の池田貴之さん、本社工場の田村洋さん、開発部の秦泉寺雄三さんからお話を伺いました。(以下、敬称略)

―御社の主要な事業は？―

垣内 南国市に本社を置く機械製造メーカーです。サイレントパイラーやコンクリートポンプなどの建設機械の受託製造と、たい肥などをベレット化する装置「粒造くん」や、柑橘類搾汁装置などの自社製品の製造を主要事業としています。

―モデル事業エントリーの経緯は？デジタル化に関して課題を感じていた？―

プロジェクト内容 (一部抜粋)

項目	主な効果
社内コミュニケーションツールの導入	スケジュール調整時間 50%減 従来比 電子掲示板等による情報共有の活性化
工程管理システム導入	工程調整時間 50%程度減 稼働状況把握が月次からリアルタイムに
日報のデジタル化	作業時間 4.5時間/日削減 データの正確性向上
開発に3DCAD利用	顧客との折衝を含む設計工程 50%減



▲ プロジェクト推進メンバーの皆さん

- ※1 独立行政法人中小企業基盤整備機構
- ※2 国立研究開発法人産業技術総合研究所

―各プロジェクトでどのような変化があった？―

【コミュニケーションツールの導入】

池田 以前は紙の回覧板で週間の予定を作成していましたが、取りまとまる頃には既に予定が変わっていることもよくありました。ツールの導入で、主要メンバーの状況が手に取るように分かり、会議や行事の予定がスムーズに調整できるため、スケジュール調整等が各段に効率的になりました。一方で、社内連絡に以前の手法を使う社員がいたり、投稿が少なかったりと苦労しましたが、粘り強く働きかけることで定着を図りました。

垣内 電子掲示板機能では、社内の情報共有やコミュニケーションが進みました。

池田 例えば、社員に子どもが生まれたときには投稿するなど、業務外の情報も含めてさまざまな情報が投稿されるようになりました。今後は、さらに取り組みを深めて協力企業や顧客とのコミュニケーションにもツールを活用していきたいです。

【工場現場でのデジタル活用】

田村 工場稼働率をリアルタイムで把握できるようにになりました。機械に不具合がある場合はすぐに検知して対応できるようになっています。また、従来は機械に表示される稼働時間を手書きで帳票に記入し、それを表計算ソフトに入力して集計をしていましたが、その作業が不要になりました。工程管理も、以前は表計算ソフトにより手作業で工程表を作成していましたが、今は作業時間をマスター

録し、基幹システムのデータをインポートすれば自動で工程表が作成されるようになりました。前後工程の作業を行っている他の工場にもリアルタイムで情報が共有され、効率が大幅に改善されています。

垣内 作業日報のデジタル化では、管理職が行っていた紙を見ながら基幹システムに入力する時間が不要になったほか、入力制限により、記載内容の正確性が増すという効果もありました。



▲作業日報をタブレットで入力

田村 自分自身はアナログな感覚が強く、今でもデジタルの用語が分からないこともありませんが、県工業技術センターをはじめ、周りに助けてもらいながら進めています。

【設計・開発のデジタル化】

秦泉寺

3DCADを導入し、従来は紙ベースの2次元で示していた機械設計を、3次元モデルで見せることができるようになりました。例えば、AR（拡張現実）を使って、タブレットの画面上で実際に制作物を設置したイメージを視覚的に伝えられます。新しいシステムへの移行作業や技術・知識の習得も必要で大変でしたが、お客様から「分かりやすい！」と良い反応をいただくことができました。

加えて、製品にセンサーを組み込むIOT製品のプロジェクトも担当しています。



▲センサーからデータ取得

製品からデータを取り込み、分析したうえで新たな製品開発の企画に活用しています。

―人材育成はどのように？

垣内 人材育成は継続して実施していく必要がありますので、「高知デジタルカレッジ」の講座を当社の人材育成計画の中に位置づけて、社員に受講してもらうことも考えています。

プロジェクトを通じて、社内に知識やノウハウが広がったように感じます。また、定期的に進捗管理を行うことで「いつまでに何を」を意識して取り組むようになりました。1年経ってみると当初の想定以上にデジタル化が進んだように思います。一方、現在プロジェクトに関わっている社員は限定的で、社内でも広がりを持たせることが課題です。

―行政支援の活用は？

垣内 工程管理システムには、国の「IT導入補助金」を、日報のデジタル化には、産業振興センターの「新事業チャレンジ支援事業費補助金」を活用しました。いずれも投資の後押しになったほか、申請のサポートもいただいたので、スムーズな活用につながりました。

―今後の展望は？

垣内 今年度は、「技術伝承のデジタル化」と「協力企業グループのKKネットとの連携強化」にも取り組めます。熟練工の技術を動画やスマートグラスなどを使って若手に伝えていくことができないか検討しています。また、電話やFAXが主となっている協力企業との連絡も、コミュニケーションツールを使って図面のやり取りや受発注に活用できるよう取り組んでいます。

―これからデジタル化に取り組む企業に言

垣内 デジタル化の必要性はさまざまな場面で強調されていますが、あくまでツールとして使うかが重要です。まずは身近なコミュニケーションツールの導入から始めてみるのが良いと思います。



株式会社垣内

■ 南国市岡豊町中島391番地8

■ TEL:088-866-2848

■ URL:

<https://kk-kakiuchi.co.jp/>



～新進建設(株)の取り組み紹介～

新進建設株式会社はデジタル化プロジェクトのリーダーである小川裕司代表取締役、プロジェクト管理を担う総務部の上野祐樹さん、土木部の濱田香織さんからお話を伺いました。(以下、敬称略)

―御社の主要な事業は？―

小川 高知県中部に本社を構える総合建設会社で、主として官公庁発注の建築・土木工事を元請として請け負っています。

―モデル事業エントリーの経緯は？ デジタル化に関して課題を感じていた？―

小川 金融機関からの紹介がきっかけでした。せっかくの機会なので積極的にやっていたいという社員の後押しもあり、プロジェクトを進めることになりました。

業界全体として、数年前からICT活用は課題になっていて、県主催の研修会にも参加しました。当時は新型コロナの流行前で今ほどはデジタルの必要性が強く言われていませんでしたし、最新機器は高額であり、また情報化施工システムの導入に際しての技術者への負担が増大するなどの課題もありました。一方で、積極的にICT



▲小川裕司代表取締役

活用に取り組む同業者もいましたし、建設業界が抱えるさまざまな問題を解決するうえで、業務のデジタル化は必須であると思っていました。

者もいましたし、建設業界が抱えるさまざまな問題を解決するうえで、業務のデジタル化は必須であると思っていました。



▲ICT機器活用で現場作業効率が大幅改善



▲コミュニケーションツールの導入で社員の働き方も大きく変化

プロジェクト内容 (一部抜粋)

項目	主な効果
社内コミュニケーションツールの導入	社内情報の問い合わせ 50件/月 → 30件/月 毎月の定例会議 (月3回) 100%オンライン化
基幹システムの刷新	本社と現場間の調整時間 100時間/月 → 20時間/月
ポータルサイトの構築	業務マニュアルやFAQの掲載 工事進捗情報を掲載
現場作業にICT機器導入	測量業務 30日 → 3日 (約90%減) 土木・法面整形工 60日 → 47日 (約22%減)

―プロジェクトで特にどのような変化があった？―

小川 特に社内コミュニケーションツールの導入で自身の働き方が一変しました。社員間のやりとりがすべて見られるので、現場の進捗度合いや社員の残業時間や育休取得状況などが手に取るように分かるようになり、社員との意思疎通のあり方が変わったためです。ただ、私の投稿もすべての社員が見られるので、その分気を遣うところもあります。

上野 業種柄、本社から離れたところにもさまざまな現場がありますが、以前は電話・対面が主な手段でした。資料の受け取りのために1時間以上かけて本社に訪問するのもよくあることでしたが、ツールの導入でコミュニケーションの選択肢が広がり、重要度の低い案件はオンラインで済ませられるようになっていきます。

濱田 そのほか、毎月3回定例で行っていた対面会議をすべてオンラインで行うようにしたことも大きな変化です。

小川 ポータルサイトの構築では、社内の情報共有だけでなく、施主に工事の進捗状況を報告するのにも利用しています。施主との掲載範囲の調整で少し現場に負担もかかりますが、顧客の満足度向上につながることを期待しています。

濱田 大きな工事などはポータルサイトに工事の進捗などの記録を残していく、今後の工事の改善につなげていきたいです。

「プロジェクトの中で課題となったところは？」

小川 地に足がついた取り組みとして進めていくには、人材育成も含め、やはり時間がかかると思います。社員にはデジタルを不得手に思っている者もいるので、じっくり浸透させていく必要があります。

上野 中には、導人に反対意見を持つ人やセキュリティに不安がある人もいるので、その人たちも含め、社内で意見を統一することに苦労しています。それぞれで気になっているところが違いますので、しつかりコミュニケーションをとっていくことが求められます。しかし、最終的に便利になれば、みんなに喜ばれるので、私自身はそこまで大きな抵抗は感じていません。

濱田 私の実感としても、ほとんどの社員は楽しみながら新しいツールを使ってもらっていると感じてます。

「デジタル化計画の策定、それを通じたプロジェクト管理を实践してみようか？」

小川 計画策定や進捗管理などを通じて得られた経験が一番大きな財産です。さまざまな人々を巻き込もうと思ったら、資料で課題や必要な取り組みなどを見える化する必要があります。外部の専門家に入ってもらい、課題や工程を資料に整理して、関係者の協力を引き出して巻き込んでいく仕事の仕方を学びました。サッカーで例えるなら司令塔の頭の中だけにあったイメージがすべてのメンバーに

伝わる状態に変わったといえいいでしょう。これは、どのような業界でも必要とされる重要な能力だと思います。弊社の上野もそのような仕事のやり方に大変刺激を受けたようです。

上野 プロジェクト管理で大変だったのは、最初は私が一人で管理担当していたときです。社内で意見の食い違いがあったときに、



▲ 濱田さん(左)と上野さん(右)

一人だと意固地になったり、視点が固まることもありま。濱田が加わったことで、相談しながら柔軟に進められるようになりました。一人で抱え込みすぎないのが必要だと思います。

「取り組みの後押しになったものは？」

上野 基幹システムの刷新と現場のICT活用には「ものづくり補助金」を活用しました。1千万円の補助は投資の後押しになったほか、申請も事務局にサポートいただきました。

「今後のデジタル化の展望は？」

小川 単なる入札の価格競争に陥っては存在意義が問われると思っています。

例えば、現在は土木や建築専科の学生を採用していますが、デジタルに関心がある方を

採用するなどの変化も考えられます。長期的にはデジタルの力を使って他社との差別化を図っていきたいです。

上野 例えば、過去の事例のデータ分析から建設コストや残業時間の削減、顧客評価や社員満足度の向上につながるような仕組みが構築できないか検討しています。

濱田 安全管理や工程管理、資材管理の情報は、まだ現場に留まっているものが多いので、本社に吸い上げて、より効率的なリソース配分を実現したいです。

「これからデジタル化に取り組む企業に言

小川 まずは日頃の業務の困り事を考えることが大切です。現代においては、その多くがデジタルの力で解決できると思います。社内のデジタル化に興味・関心のある者から率先して一歩進めてみるのも良いと思います。



新進建設株式会社

■ 高知市九反田5番8号

■ TEL:088-882-7166

■ URL:<https://shinshin-kochi.com/>



建設・資材・維持関連製品のミニ展示商談会を開催しました

東京営業本部 大阪事務所 外商コーディネーター 坂本 光男

大阪事務所では、昨年度から行っています高知県産業振興計画の「関西・高知経済連携強化戦略」に基づいた県内企業の外商支援を推進するため、今年度はミニ展示商談会の開催回数を昨年度の4回から6回に増やすとともに、テーマや内容を既存分野以外にも広げ、訴求力を高めて開催していく予定です。

その第1弾となる今回は、県工業振興課が3月17日に「製品・技術の紹介」のテーマで開催したWEBセミナー（県内企業3社が災害対策や工期短縮、施設建築などに関する製品・技術のプレゼンテーションを実施）の流れを汲み、「建設・資材・維持関連製品」をテーマに6月7日にあべのハルカスにて開催。防災・災害対策、再開発事業、施設建築案件や維持管理業務などの製品や技術に関連する県内企業5社にご出展いただきました。ミニ展示商談会の開催テーマとしては初めてということもあり、5社のうち4社が初めてのご参加でした。

来場案内は、WEBセミナー視聴企業の他、自治体都市整備部局、高速道路会社、デベロッパー、建設会社、設備管理会社、部品メーカー等、今までのミニ展示商談会になじみの薄い企業様に積極的に行いました。

当日は16社25名の来場者を外商コーディネーターがご案内し、各出展企業による積極的なPR、意見交換、商談が行われました。商談数は33件（継続案件19件）となり、今後の展開に向けたきっかけや貴重な意見も聞くことができました。また、あべのハルカスでの開催ということもあり、近鉄グループ様にも新しい切り口でPRさせていただきました。

今後は、継続する商談案件を1件でも多く成約につなげられるよう、大阪事務所の4人の外商コーディネーターが出展企業の皆様をフォローさせていただきます。また、今後ますますの経済活力の高まりが見込める関西圏にこうした高知県内の優れた製品や特長のある技術を広く知っていただくため、ミニ展示商談会を開催しPRしながら、商談、成約の機会づくりをしていきたいと思っております。

出展企業（5社）	出展製品
大斗有限会社	かんたんひび割れ調査システム オートくん
株式会社技研製作所	インプラント工法による事前防災、地下開発（エコサイクル、エコパーク等）
高知機型工業株式会社	建築・橋梁に用いる鋳鋼部材
株式会社タムテック	S F（スピードフォーム）工法
株式会社西宮産業	コンクリート構造物の補修補強製品、組み立て式階段



今後のミニ展示会の予定（上期）

- 令和4年7月12日（火） 「防災関連製品ミニ展示商談会」 （東京・第一ホテル東京）
- 令和4年7月22日（金） 「ものづくり企業マッチング商談会」 （大阪・TURUYAホール）
- 令和4年9月下旬 「食品機械関連ミニ展示商談会（仮）」 （大阪）

【お問い合わせ】（公財）高知県産業振興センター 東京営業本部

東京事務所 □ 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル8F
□ TEL: 03-6452-8830 □ FAX: 03-6452-8831

大阪事務所 □ TEL: 06-6244-7934 名古屋事務所 □ TEL: 052-684-4904

東京営業本部
facebook
こちら→





経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆様の売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

「成長志向企業伴走型支援事業」 支援企業を募集します！

※成長志向とは、事業の成長に向けて意欲的に取り組み、自社のありたい姿を目指すこと。

事業趣旨

本事業は、拠点に所属する経営戦略のプロフェッショナルがチームを組み、事業者の経営戦略立案・実行についてのサポートを重点的に行うものです。経営課題を見極め、進むべき道を描いていくために、経営者に寄り添いながら課題解決に向けた伴走型支援を行います。

成長のポテンシャルはあるものの、「そのことに気づいていない」「力を伸ばすチャンスがなかった」といった事業者は少なくありません。本事業を活用いただくことで、具体的な取り組みの進捗に直結することはもとより、一層の成長、新たな経営戦略の構築につながる可能性が十分に考えられます。

今回の申し込みをきっかけに「経営力を高め、成長したい」という意欲を持つ事業者からの応募をお待ちしております。

《支援イメージ》

例)

支援企業の現状
のヒアリング

課題の明確化
支援方針検討

課題共有

支援計画策定

中長期的な伴走支援
(課題解決)

各支援企業の取組内容を踏まえ、経営戦略のプロフェッショナルがサポートします。対話を重ねて本質的な課題を見極め、事業展開プランの提案やスケジュールの策定など成長への道筋をトータルプロデュースし、事業者の実態に合わせて支援します。

支援対象者

- 高知県内に事業所があり、成長を目指す事業者であること
- 財務、経営状況の健全性が確保されていること
- 成長のポテンシャル(強み)とともに、意欲や熱意を持った経営者であること
- 地域密着企業としてのパワーアップを目指し、地域経済への波及効果が期待される事業者であること

費用 原則無料

支援事業者数 5社程度

選定方法 書面審査

申請書類 ①申請書 ②決算書(直近3期分)

③その他参考となる書類

④別途、個別に提出をお願いする資料がある場合があります

申請方法 公募期間内に下記の提出先へ郵送してください。
※宛先面に「伴走型支援応募書類在中」と朱記してください。

公募期間 令和4年7月11日(月)～令和4年8月15日(月)
17時必着

スケジュール(予定)

公募開始 令和4年7月11日(月)

公募締切 令和4年8月15日(月)

支援企業決定 令和4年9月頃

※上記スケジュールは目安であるため、実際とは異なる場合があります。

公募要領・申請書 等

詳細は、公募要領等をご確認ください。
令和4年7月11日(月)に掲載いたします。



【提出先・問い合わせ先】 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

□〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

□ Email : yorozu@joho-kochi.or.jp

□ TEL : 088-846-0175 □ 対応時間 8:30～17:15 (土日祝日を除く平日)

高知県よろず

検索

企業担当者向け「初級LCA講座」をスタートします

LCA(ライフサイクルアセスメント)は、製品やサービスの環境負荷への影響度を評価する手法の一つです。製品や事業の環境負荷について、原材料から廃棄までの評価を行います。カーボンニュートラルに対する社会的要請の高まりにより、企業における必要性、重要度が増しており、当センターで関連情報の収集と情報発信を始めています。

この取り組みの一つとして、今年度から「初級LCA講座」をスタートしました。これから取り組む企業や団体の新規担当者の方と少人数でディスカッションをしながら、基本的な内容に取り組む予定です。ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

(高知県工業技術センター 資源環境課 088-846-1651 担当:山下、伊吹)

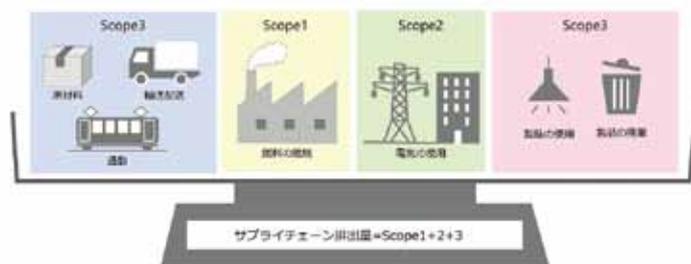


図1 サプライチェーン排出量の概略

令和4年度「計量に関する図画・ポスター」コンクール作品募集

1 目的及び内容

11月1日の計量記念日にあたり、広く県民に正しい計量についての認識を深めていただくため、「計量に関する図画・ポスター」を募集し、優秀作品を表彰します。

2 内容

計量器(はかり等)のある生活を主題としたもので、計量器が果たす役割や、計量器を使って正しく計ることを通じて、よりよい社会の実現につながる等の内容によるもの(計量器を使った計量には、家庭やお店で行うお米や肉などの計量、学校での身体測定や理科の実験、スポーツ大会での競技記録の測定など、色々なものがあります)。

3 募集の対象

県内小中学校および特別支援学校(小学部・中学部)(以下「小中学校等」)の児童・生徒

4 応募の方法

画用紙またはポスター用紙(八つ切り)、彩色用具の種類は問いません。

作品の裏面には、「学校名・学年・氏名(ふりがな)」を必ず記入したうえで、学校ごとに取りまとめたの提出をお願いします。

5 申込先・問い合わせ先

- (1) 高知市内の小中学校等
〒780-8571 高知市本町五丁目 1-45
高知市くらし・交通安全課 計量検査所
(TEL:088-802-5753)
- (2) 高知市以外の県内小中学校等
〒781-5101 高知市布師田3992-3
高知県工業技術センター 計量検定室
(TEL:088-845-7770)

6 締切日

令和4年9月30日(金) 必着

7 入賞および表彰

入賞(高知県知事賞1名、高知市長賞1名、高知県計量協会賞1名)、特選5名、入選5名

入賞者には賞状と副賞を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を配布します。

表彰式：令和4年11月13日(日)午前10時30分から12時まで工業技術センター第1研修室にて行います。

8 作品の著作権等

- (1) 入賞作品の著作権は、主催団体に帰属します。
- (2) 個人情報については、高知県個人情報保護条例及び高知市個人情報保護条例に基づき、厳正に管理します。
- (3) 入賞者の作品・学校・学年・氏名については、展示およびホームページ等において公表します。

9 主催団体

高知県・高知市・高知県計量協会



図2 令和3年度入賞作品





カンタン！時短！あなたの図書館！

オーテピア高知図書館の
データベースサービス

オーテピア高知図書館では、24種類のデータベースを提供中。市場調査、企業・業界情報、新聞記事など、ビジネスに役立つ情報を効率よく収集できます。しかも、すべてのデータベースは利用無料！今回は、ビジネス支援サービス担当者おすすめのデータベースを、調べもの（レファレンス）での活用例とともにご紹介します！

調べもの（レファレンス）の例

高知の食材を使ったチョコレート菓子を開発して、ゆくゆくは地元の高知市中万々に菓子店を出したい。そこで、Q1. 国内のチョコレート菓子の市場規模、Q2. 高知市中万々の商圈情報について調べたい。

今回の調査で使うデータベースはこちら

マーケティング情報バック

特徴

▶▶約2千品目の市場規模・メーカーシェア等を調べることができます

ドラッグストアPOSデータ 約1万5千商品の四半期ごとの販売数やリピート購入率、カテゴリごとの売り上げランキングなどがわかります

家計調査データ 約600品目の年・月・日別の支出トレンドがわかります

検索！

A1. 国内のチョコレート菓子の市場規模

市場調査データに「チョコレート菓子」の項目があります。2020年の市場規模や2025年の将来予測がわかります。今後の市場動向として、需要の移り変わりの傾向や、今後開発が活発になる商品の傾向などが分析されています。

市場情報評価ナビ

Marketing Information Database

特徴

▶▶世帯データや支出・購買力データ等の分析結果が分かります

※当館では、四国4県、東京、大阪、愛知のレポートを提供

商圈レポート 都道府県や市区町村、指定した500m圏内等の、詳細な図表を含む商圈分析を見ることができます

プレイス検索 周辺地域の競合店を検索することができます

検索！

A2. 高知市中万々の商圈情報

商圈レポートで「高知市中万々」を検索すると、購買力評価のデータが確認できます。例えば、菓子類購買力の項目を、高知市の全町丁の平均値と比較できます。プレイス検索では、周辺地域の菓子店の場所を地図上に表示することができます。



担当司書からのコメント

実際の調査では、今回使用したデータベースの他にも、国や地方自治体の統計データや、専門の新聞や雑誌、書籍など様々な情報を組み合わせることで調査をします。なにか調べたいことがあれば、些細なことでも構いませんのでご相談ください。図書館が調べもののお手伝いをします。もちろん、利用は無料です。



使い方

共通利用カードを持って
オーテピア高知図書館
3階ビジネス支援デスクへ

使いたいデータベースの
申し込み
(共通利用カードがなければ
その場で作れます)

1時間まで
使えます
(無料)

印刷できます
白黒 10円
カラー30円



【お問い合わせ】オーテピア高知図書館 ビジネス支援サービス担当

☎780-0842 高知市追手筋2-1-1 ☎TEL:088-823-4946(代表) ☎メール:toiawase@library.kochi.jp

☎開館日: 火曜～金曜 9:00～20:00 (祝日を除く毎週月曜、毎月第3金曜<8月を除く>は休館)

土日祝 9:00～18:00 (7・8月の土曜日は20:00まで開館)

※令和4年8月9日～12日は休館(資料特別整理期間)

他にも、新聞、官報、判例検索など
24種類のデータベースを提供
オーテピア高知図書館のデータベース



催し物名	主催者	場所	会期	営業時間
第31回 全国高等学校漫画選手権大会 (まんが甲子園)	まんが王国・土佐推進協議会	ざばさんセンター大ホール	7月30日(土)～7月31日(日)	7月30日(土) 9:00～18:00 7月31日(日) 9:00～20:00

大ホール
催し物

区分	受付期間	名称	内容
出展者募集	7月1日(金)～7月25日(月)	ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展 出展者募集	本県の「ものづくりの地産地消」と「地産外商」の促進を目的に、高知県内で「ものづくり」に携わる事業者の皆様に、優れた技術・製品の紹介や、商談を行う場を提供しています。
補助金	6月28日(火)～7月29日(金)	高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金 2次募集	新型コロナウイルス感染拡大および原油・物価高騰の影響を受けた県内中小企業が、設備投資を伴う新たな取り組みにチャレンジする費用の一部を補助します。
補助金	7月1日(金)～10月31日(月)	高知県デジタル化計画 実行支援事業費補助金募集	当センター支援による「デジタル化計画書」を策定した県内中小企業者について、デジタル化を実現するためのシステム構築等に係る費用の一部を補助します。
補助金	7月4日(月)～8月5日(金)	高知県原油高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金募集	原油価格高騰に対する緊急的な支援として、製造業を営む県内中小企業者が行う、省エネ及び生産性向上を図るための設備投資に係る費用の一部を補助します。
表彰	8月公募開始予定	令和4年度第37回高知県地場産業大賞	高知県内で創り出された優れた地場産品や地場産業の振興に貢献のあった活動を表彰します。

公募予定表

区分	日時	名称	場所
セミナー	7月26日(火) 8月24日(水) 9月28日(水) 10月24日(月) 11月16日(水) 全日程 13:30～16:30	WEBサイト「売上・収益アップ」実践セミナー 7月26日…ライバル超え！サイト改善ポイント 8月24日…無名なのに選ばれる「◎◎」術 9月28日…WEB担当者養成、虎の穴コース 10月24日…直前！GA4対応アナリティクス術 11月16日…“たまたま売れた”から“目標必達”へ	【オンライン開催】 ※新型コロナウイルスの状況が緩和されれば下記会場にて開催します。変更となる場合は、ホームページ・メールでご案内させていただきます。 ざばさんセンター 2階 研修室1
セミナー	7月19日(火) 13:30～15:00	小規模企業の電子帳簿保存法対策セミナー	ざばさんセンター 1階 商談室2
商談会	11月10日(木)～12日(土) 10:00～16:00	ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展	ざばさんセンター 大ホール他
【お問い合わせ】 高知県産業振興センター 088-845-6600			セミナーなどは事前に申し込みが必要です。受付方法やその他の詳細については、お問い合わせください。

行事予定表

お～い会員さん

賛助会員の皆様をご紹介します！

株式会社あさくらセンター



会社案内 あさくらセンターは、サニーマート第1号店として開店し、60年がたった今も「あさセン」の愛称でも親しまれています。「はい!喜んで」の精神で配達サービスにも取り組んでいます。店内でお買い上げいただいたお米や飲料などの重たい商品も配達いたしますので、特に雨の日などのお持ち帰りが大変な時には、どうぞお気軽にご利用ください。

- 店 長：田中 恒太郎
- 所在地：高知市鴨部3丁目9-26
- TEL：088-844-0004



旭食品株式会社 本社



会社案内 旭食品は、大正12年創業の食品卸売業の会社です。各支店が地域に密着した営業・物流体制で関東以西の24都府県に営業拠点を展開しています。地元高知の食材を活用したものづくりにも注力しており、県内企業様との商品開発および県外への販売を視野に入れた活動にも取り組んでいます。「食の豊かさを守り、食の楽しさを開拓し続ける旭食品グループ」を基本理念に掲げ、地域課題を解決するための取り組みにも各拠点で積極的に携わっています。

- 代表者：代表取締役社長
竹内 孝久
- 所在地：南国市領石246
- TEL：088-880-8111



株式会社オサシ・テクノス



会社案内 確かな技術で土砂災害や河川氾濫などの自然災害から人々の安全を守る「防災計測機器」を製造して今年創立50年。高知から全国に販売、レンタル、クラウドサービスなどの形で提供し、多くの地すべり災害現場や河川などで活躍しています。自社一貫製造で、販売から設置、保守メンテナンスに至るまでこだわりの製品とサービスを提供しており、お客様の様々なニーズにあった注文に適應できる対応力にも高いご評価をいただいています。

- 代表者：代表取締役社長
矢野 真妃
- 所在地：高知市本宮町65番地3
- TEL：088-850-0535



紀和工業株式会社



会社案内 弊社は、創業より50年をすぎ、水に係るインフラ整備へ関わってきました。水道事業に始まり、ポンプ場、ゲートなど津波対策事業、浸水対策事業へも参入してきました。メーカーからの品物を安全に確実に施工し、地域を守る企業を目指しています。令和4年8月完成予定で工場を建設中です。メーカーからの製品を預かり、整備し地域の安全安心の一助になればと考えております。

- 代表者：代表取締役
安宅 正雄
- 所在地：高知市南ノ丸町12番地16
- TEL：088-832-2155



あなたの アイデアやものに 財産的価値が あるかも!?



- 知的財産の初歩からご説明
- 弁理士や弁護士などの専門家から無料でアドバイス
- あなたの会社にもお伺いして支援も可能

海外展開・契約・秘密管理などでも知的財産は重要です!

★企業派遣専門家による支援

必要に応じて、デザイン専門家、ブランド専門家、知財専門家、中小企業診断士等の専門家を現地に無料で派遣しています。

◎ 専門家相談会予定(相談時間 13:00-17:00)※変更になる場合がございますのでご了承ください。

7月予定日	専門家	8月予定日	専門家
2022年7月 1日(金)	城田弁理士	2022年8月 3日(水)	中橋弁護士
2022年7月 8日(金)	橋本弁理士	2022年8月 5日(金)	城田弁理士
2022年7月12日(火)	下方弁理士	2022年8月 9日(火)	栗本弁理士
2022年7月15日(金)	栗本弁理士	2022年8月12日(金)	橋本弁理士
2022年7月21日(木)	武田弁護士	2022年8月19日(金)	栗本弁理士
2022年7月22日(金)	中越弁理士	2022年8月23日(火)	下方弁理士
2022年7月26日(火)	下方弁理士	2022年8月26日(金)	中越弁理士

お気軽に
お電話を!

お問い合わせ先 INPIT 高知県知財総合支援窓口

窓口開設時間 / 9:00~17:00
(土日・祝日・年末年始を除く)

TEL & FAX **088-854-8876**

E-mail: info@jiii-kochi.jp

★詳しくはHPをご覧ください。

窓口支援担当者: 石橋広通 / 畠山佳子
相談対応者: 柏井富雄 / 福井千賀

高知知財窓口



【運営機関】

一般社団法人 高知県発明協会
〒781-5101 高知市布師田3992-3 高知県工業技術センター内

(独)工業所有権情報・研修館事業

発行 / 公益財団法人高知県産業振興センター

令和4年7月10日(毎月10日)発行 通巻第418号
〒781-5101 高知市布師田3992-2 2階
TEL 0888456600 FAX 0888462556
●本誌は環境保護を目的に再生紙を使用し印刷しております

定価 300円
(会費中に本誌代も含まれます)